



「新防災教育副読本を活用した指導事例」

<p>学校名 [上愛子小学校] 氏名 [千葉 克人] [小] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [ぼうさいリュックを用いしよう] P36~37 教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]</p>	
<p>主な学習活動</p>	<p>指導の実際</p>
<p>【ねらい】 様々な自然災害に直面した時の適切な持ち出し物について考え、日頃からの防災意識を高める。</p> <p>1 学習課題を知る。 ○ 地震や津波以外に、どんな自然災害がありますか？ ・ 大雨 ・ 突風 ・ 台風 ・ 噴火 ・ 竜巻 ・ 土砂崩れ ・ 川の氾濫 ・ 雷 ・ 大雪</p> <p>2 いろいろな自然災害の様子について考える。 ○ 自然災害が起きると、どんな被害が出るでしょうか？ ・ たくさんの雨水により、川が増水する。 ・ 大雨により、道路や家が水につかる。 ・ 突風により、いろいろな物が飛ぶ。 ・ 落雷で感電したり停電になったりする。 ・ 竜巻で物が吹き飛んで家が破壊される。 ・ 山が崩れて土砂が流れてくる。 ・ 大雪で家がつぶれたり壊れたりする。</p> <p>3 災害が発生した時に、避難するための準備について考える。 ○ 家が被害にあったら、逃げる時にどんな物を持ち出したら良いでしょうか？ ・ お金 ・ ペット ・ ゲーム</p> <p>○ もしもの時に、何が必要になるでしょうか？ ・ 食べ物 ・ 懐中電灯（電池） ・ 着る物や履き物 ・ 軍手 ・ トイレ ・ ちり紙 ・ 水 ・ 敷きもの ・ 薬 ・ ラジオ（携帯電話）</p> <p>4 まとめ</p> <p>○ 自然災害による不測の事態に備えて、前もってどのような準備をすればよいのか各自の家庭の状況を考えてワークシートに記入する。</p> <p>※教師の体験談を聞く。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風や竜巻・突風被害を新聞記事より想起させる。 ・ 副読本P23-25の被害写真から過去の記録を参照させる。 ・ 副読本以外に気象庁のWeb資料を扱い、自然災害のイメージを具体的に捉えさせる。 ・ 自分の経験や知識を振り返って、ペアで紹介し合った後に、グループ内で意見交換したうえで、全体で発表する。 ・ 気象に関する難しい専門用語等については、児童の理解できる範囲で適宜説明を加える。 ・ いろいろな災害についての様子を記した指導資料（パネル）を参考として提示して補足する。 ・ ワークシートに記入させる。 ・ 自分の家に実際に起こるであろう被害をもとに考えさせ、ふだんの実践行動につながるよう意識させる。 ・ 緊急時に避難した時の状況をできるだけ具体的に考えさせる。 ・ 災害後に被害が増大しないよう前もって準備しておくことの大切さを意識させる。 ・ 全体での意見交流により出た情報について、正しい知識として確認していく。 ・ 記入後、取り上げたものについて、発表を通し、明らかにした内容を自分や家族の問題として意識させる。

もしもの時に必要な物を考えよう！

3年 番 名前 ()

1 自然の災害には、どんなものがあるだろう？

--

2 それらの災害にあうと、どんな被害を受けるだろうか？

(1)

--

(2)

--

(3)

--

3 災害になった時、ないと困ることはどんなことだろう？

4 いざ逃げるときに、持ち出せる物は？

我が家の防災リュック

3年 番 名前 ()

